

▼26聖人殉教記念ミサ
2月1日(日) 14時
西坂公園(雨天 中町教会)
▼選任式
2月10日(火) 11時
青方教会
▼司祭助祭叙階式
2月11日(水) 10時
福江文化会館

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
中田 輝次
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869 FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤木博英社
〒850-0852 長崎市万屋町5-13
TEL 095(821)2146 FAX 095(821)2148



1月・教皇さまの意向
のために祈りましょう
①一般の意向：養成の場としての
家庭
②宣教の意向：キリスト者の一致
③日本教会の意向：中東の平和



全体会議

世界代表司教会議 (シノドス) 報告

去る10月5日～26日、
パウロ6世謁見ホール会
議場において、世界代表



発表する高見大司教

司教会議(シノドス)第
12回通常総会が開催され
た。テーマは、「教会の
生活と宣教における神の
ことば」であった。

教会の歴史の中で、第
2バチカン公会議を除け
ば、信仰生活の視点に立
って聖書全般について全
教会のレベルで話し合わ
れたのはおそらく初めて

の朗読と説
教、個人的
あるいはグ
ループによ
る聖書の朗
読、聖体と
神のことば
の関連づけ
などがおも
な関心事で
あった。教
皇さまの
「使徒的勸
告」が発表
されたあか
つき(1年

去る11月11日～13日、
第14回日韓司教交流会が
韓国馬山(マサン)教
区で行われた。
釜山空港から車で1時
間半足らず、風光明媚な
山の頂にある馬山教区教
育館で、韓国から16人、
日本から14人の司教たち
が一同に会し、両国に共
通した「移住者の司牧」
について研修した。オー
ストラリアで働く専門家
の司祭から聖書と司牧神
学の講話を聞き、韓国と
日本における移住者の司
牧の現状を報告し合い、
分科会に分かれて熱心に
話し合った。
今年日本で開催され
る予定である。

「パウロ年」は、まさに神のことばに親しむ絶好の
機会です。パウロ自身が神のことばに生かされ、そ
れをたずさえてつづつ殉教したからです。また2005
年のシノドスは、聖体と生活を結びつけることを強
調しましたが、昨年のシノドスは同じように神のこ
とばと生活を結びつけることを強調しました。聖体
は主イエスの愛のわざを継続するものですが、神の
ことばは聖体を説明し、聖体のように愛を実践する
よう促すものと言えます。ともあれ、まずシノドス
後?には、教区として
具体的な対応を検討する
ことになる。

第14回 日韓司教交流会



2008 平戸ザビエル祭

昨年11月30日、列福式を
終えて6日目の平戸ザビ
エル祭は、その感謝のため

に高見大司教を迎えて平
戸文化センターでミサが
ささげられた(写真右)。
に始められたミサでは、
昨年平戸地区各教会に灯
された赤口ウソクの1つ

この日、地区青年会主
催の「列福感謝の徒歩巡
礼」は、福者ガスパル西
玄可らが殉教した生月黒
瀬の辻を朝7時に出発し
て、約20を7団体60人
が「神に感
謝。福者ベ
トロ岐部と
一八七殉教
者」と記さ
れた赤いタ
スキをリ
レーシなが
らミサ会場
を目指した
(写真下)。



画作文コンクール入賞者
の表彰も行われた。
ミサで大司教は、「救
いの喜びの福音」とは何
かを問いながら、生活の
中で一時的喜びに流され
ずに、神との絆を歩んで
いく喜びを証したザビ
エルと福者たちを思い起
こすよう諭して、500
余人と感謝をささげた。

今年も教区の皆さまに
喜ばれる紙面づくりに努
力いたします▼ペトロ岐
部と187殉教者の列福
式当日、式典の成功に全
面的に協力してくださっ
たイベント会社の社長と
偶然同じ路面電車に乗り
合わせた。社長はその日
の新聞数紙に目を通して
いたが、向かいの私から
も式典開催が目飛び込ん
だのでほっとした▼あ
いさつを交わし、こちら
が広報部の神父だと分か
ると隣に来て、「教皇来
日の時は雪でしたが、今
度の列福式は雨ですな」
と気さくに話し掛けてく
れた。教皇来日当時、私
は中学3年生だったが、私
は確かにあの日の猛烈な寒
さと雪は忘れられない。
そして今回の列福式の天
気も、「列福式ならでは
の天気」として記憶され
ることだろう▼教皇来日
を目の当たりにした人は
例外なくあの日の雪のこ
とを語る。繰り返して繰り
返し思い出し、語ること
で記憶は定着し、出来事
が鮮明によりがえってく
る。だから多くの人に
とって教皇来日の出来事
は「すでに終わった過去」
ではなく、「生きていま
今」なのである▼今回の
列福式の感動は語り継が
れるだろうか。それは、
私たちがどれだけ繰り返
し思い出し、語るにかか
っている。何度でも思
い出し、語ろう。一般マ
スコミは何度かは思い出
してくるかもしれない。
だが私たちは、あの日の
記憶を未来に語り継ぐた
めに、あたかも今起こっ
たことのように生き生き
と思ひ出そう。

長崎教区の信徒、男女修道者、司祭団の皆さま、新
年明けましておめでとうございます。昨年も公私に
わたり、お祈りと多大なご支援ならびにご協力をた
まわり、まことにありがとうございます。心より
感謝いたします。本年も昨年同様よろしく願ひい
たします。

1. 「ペトロ岐部と187殉教者」列福式と
これから
わたしたちにとって昨年の最大の出来事は何とい
つても列福式でした。直接参加された方々はもちろ
ん、テレビやインターネットでご覧になった方々も
一様に感動されたようで、列福式が殉教者たちを通
して神さまがくださった大きなお恵みだと実感しま
した。すべての参加者、とくに教皇代理、白柳枢機
卿さま、福音宣教省長官、韓国はじめアジア諸国か
らの司教さま方、さらには自治体や諸宗教の方々の
参加協力にも感謝申し上げます。

列福式に先立つて、個人、家庭、共同体、修道院、
小教区、地区などのレベルで祈り、学び、分かち合い
巡礼などが行われました。たとえば、長崎中地区は
各小教区が指定された殉教地への巡礼を企画、長崎
南地区では各小教区とコレジオと地区青年会がそれ
ぞれ割り当てられた殉教者について勉強し、その成
果を絵や映像や演劇などで発表しました。信仰教育
委員会は、子供たちの作文と絵のコンクールを実施
しました。

しました。青少年委員会は「証し灯りレー」ミサな
どを全国的に展開しました。列福式の準備で中心的
な役割を果たしたのは、教区本部の司祭とスタッフ、
典礼委員会、連合婦人会ほか各担当部署の皆さんで
した。前日には長崎県宗教者懇話会主催の平和コン
サートも行われ、夜には4教会で「祈りの集い」が
有意義に行われました。式当日は医師や看護師、学
生、地区評議員、シスターなどを含む約3,000人
の方がボランティアとして奉仕し、多くの参加者
により印象を与えました。ともあれ、経済的な支援
年頭教書

今年ももう一歩 聖書を読んで神のことばに親しもう

大司教 高見 三 明

3. 神のことば
「パウロ年」は、まさに神のことばに親しむ絶好の
機会です。パウロ自身が神のことばに生かされ、そ
れをたずさえてつづつ殉教したからです。また2005
年のシノドスは、聖体と生活を結びつけることを強
調しましたが、昨年のシノドスは同じように神のこ
とばと生活を結びつけることを強調しました。聖体
は主イエスの愛のわざを継続するものですが、神の
ことばは聖体を説明し、聖体のように愛を実践する
よう促すものと言えます。ともあれ、まずシノドス
後?には、教区として
具体的な対応を検討する
ことになる。

残した信仰の遺産についてより深く学び、福音を生
き伝えようとする彼の熱意にあずかるために可能な
かぎり努めたいと思います。まず「使徒言行録」を
読み、それからパウロの手紙を読みましよう。また
パウロに関する講演会を各地区で実施したいと考
えています。指定巡礼教会への巡礼も奨励します。わ
たしは、巡礼団を組んで、7月20日～8月1日、パウ
ロの足跡を訪ねてトルコからローマへの巡礼の旅を
する予定です。

のメッセージ(長文と要約)を各自熟読玩味し、ほか
の人と分かち合うことを勧めます。できれば「マイ
(わたしの)聖書」を持つようにならう。最近
シヤレた装丁の小型の聖書も出版されています。毎
日時間を決めて読むこともできますし、いつでもど
こでも、とくに教会に行くとき、聞くことができるよ
うに持つて「さるく」こともできます。小教区評議会
各種委員会、婦人会、青年会などで会議をする前にそ
の日の福音の箇所、あるいは前の主日か次の主日の
福音あるいは他の朗読箇所を読むことを勧めます。
最初は気の合う者同士でもいいですから、小共同体
をつくってみてください。努力と忍耐と時間とともに
神のことばの力によって内側から変えられ、キリ
ストの心にぐつと近づくことになるでしょう。

一昨年は邦人教区としての設立80周年を祝い、昨
年は神のことばに関するシノドスも開催され、すば
らしい列福式を体験しました。「パウロ年」もまだ半
年あります。このようなことがバラバラの「点」で
はなく、「線」としてつながり、6年後に迎える「信
徒発見150周年」に向けて教区共同体が「参加し、
交わり、宣教する共同体」へとさらに一歩成長するよ
う努めて参りましよう。長崎教区の司祭、修道者、
家庭、小教区共同体が、人間的レベルにとどまるの
ではなく、お互い「キリストを信じ愛する者」の名
にふさわしいものでありたいと切に願うものです。
それがキリストのお望みにちがいないからです。

「ほしなげ」
今年も教区の皆さまに
喜ばれる紙面づくりに努
力いたします▼ペトロ岐
部と187殉教者の列福
式当日、式典の成功に全
面的に協力してくださっ
たイベント会社の社長と
偶然同じ路面電車に乗り
合わせた。社長はその日
の新聞数紙に目を通して
いたが、向かいの私から
も式典開催が目飛び込ん
だのでほっとした▼あ
いさつを交わし、こちら
が広報部の神父だと分か
ると隣に来て、「教皇来
日の時は雪でしたが、今
度の列福式は雨ですな」
と気さくに話し掛けてく
れた。教皇来日当時、私
は中学3年生だったが、私
は確かにあの日の猛烈な寒
さと雪は忘れられない。
そして今回の列福式の天
気も、「列福式ならでは
の天気」として記憶され
ることだろう▼教皇来日
を目の当たりにした人は
例外なくあの日の雪のこ
とを語る。繰り返して繰り
返し思い出し、語ること
で記憶は定着し、出来事
が鮮明によりがえってく
る。だから多くの人に
とって教皇来日の出来事
は「すでに終わった過去」
ではなく、「生きていま
今」なのである▼今回の
列福式の感動は語り継が
れるだろうか。それは、
私たちがどれだけ繰り返
し思い出し、語るにかか
っている。何度でも思
い出し、語ろう。一般マ
スコミは何度かは思い出
してくるかもしれない。
だが私たちは、あの日の
記憶を未来に語り継ぐた
めに、あたかも今起こっ
たことのように生き生き
と思ひ出そう。

殉教者をテーマにした 作文入賞者決まる(小・中)

列福式を前に信仰教育委員会(岩本繁幸委員長は、小中学生を対象に「ペトロ岐部」と187殉教者の図画・作文を募集した。審査の結果左記の入賞者が決まった。(図画入賞者は2月号掲載)

〈作文・最優秀賞〉

「赤いバラ」と「聖体」 小1 はまさき ななみ(植松)
わたしは、イグナチオくんが、すごいとおもいます。だって、五さいなのにあたひせつなことを、つたえるために、神さまからえらばれたし、ゆびをきられるときも、すこし、おとうさんとおかあさんのほうを、ふりむいてたけど、きつと、こころの中で「おとうさん、おかあさん、ぼくは、もうすぐ天ごくで神さまに、あえるよ」とよろこんだとおもいます。

そして、ゆびをきられたあとに、そのてをかざして天をみたら、神さまが、みえたなんて、もつとすごいなあとおもいます。あとなんか、わたしは、イグナチオくんが、イエスさまにみえました。神さまも、イグナチオくんが、すくいぬしイエスさまだとおもって「くるしみを、がまんした、すくいの子」といったかもしれないとわたしは、おもいます。そして神さまにいのちをささげるなんて五さいでも、とくにイグナチオくんが、一ばんゆうきがあると、おもいます。あと、イグナチオくんは、やさしい子だから、天ごくにいったけど、けんかとかしている人には、きつと神さまのかわりに、「神さまを、き

「家に入ってみると、幼子
は母マリアと共におられた。
」マタイ2章11節
子供のころのクリスマス
の思い出といえば、教会
学校の「馬小屋コンク
ール」、みんなが思いを込
めて作った馬小屋を見る
のはクリスマスの楽しみ
のひとつでした。馬小屋
作りが楽しかったのは、
どこか馬小屋の雰囲気
が和やかで温かい家族
団らんに似ていたからか
もしれません。自分もそ
の一人として招き入れら
れ、幼子イエスさまに出
会う喜びを味わっていた
のでしよう。聖書には、
馬小屋にさまざまな人々
が訪れたことが記されて
います。貧しい羊飼いは
じめ、遠い国の博士まで。
このクリスマスに、教

みことばにふれて 49 浦上教会学校スタッフ



カット
木村百恵 修道女

来事が、私たちのために命をささげてくださいました。イエスさまの生涯の出来事と切り離せないことに気付いたからなのではないかと思いました。台本係を仰せ付かった私はその想いを何とか表現でき

の終わりに列福式で歌った「いのち」という曲を選んだのは、人々に愛の業を行い、迫害していた人々たちを恨まず、神さまのために命をかけて信仰を生き抜いた先輩方の出

恵みの風に帆をあげて

作詞・作曲者 前田智晶修道女

列福式に歌った「恵みの風に帆をあげて」の作詞・作曲者ってどんな人?と問われ、広報委員はフオローした。前田修道女は、宮崎カリタス修道女会管区本部修道院(東京)。さっそく列福式聖歌に採用された経緯などについて尋ねると、出身地の小林市は大分教区、国東出身のペトロ岐部について深く知りたいと思



2年前、修道女連催の長崎殉教地巡礼に参加、古巣神父から雲仙、有馬

▼列福記念の美術展

フランス・コルシカ島在住の日本人画家松井守男画伯の殉教者列福式を記念する「こころの光」展は昨年11月22日から12月



7日まで大司教館(写真)浦上教会、大浦天主堂で開催され、鑑賞者を魅了した。

「バチカンの名宝とキリシタン文化」ローマ・長崎 信仰の証(歴史文化博物館)は11月1日、1月12日まで。彫刻家舟越保武展は10月3日、11月27日まで。26聖人記念館で開催の「殉教者とその時代」は11月1日、1月12日まで開催され、教皇代理サライバ枢機卿も鑑

今日のミサで歌った「海をこえ 時をこえ」の作詞・作曲者はシスターですかと問われ、神父から「列福式の歌を作ってみませんか」と声掛け

「美しい旋律を紡ぎだす曲だと思えます。自然な形で区切り法が構築されていく音楽的にも高いレベルの曲」と聖歌指導者は絶賛する。

「曲づくりの主体は聖霊の息吹です。賛美する心を大切に、皆さま方と音楽を通して神さまを賛美する心を分かち合っていければとても幸いです。新曲が生まれるたびに快く歌ってくれる修道家族に感謝!」

小林教会出身。23歳のとき受洗。両親も初誓願後、洗礼の恵みを頂く。

賞された。

▼銀行から「祈りの花束」
京都・北白川教会の日曜学校の子供たちの「祈りの花束」が十八銀行から教区広報委員会へ届き驚かされた。



北白川教会の話によると、列福式に向けて子供たち12人が殉教者を思いロザリオを唱えましたと書いた「祈りの花束」を準備し、列福式会場へ臨んだが、霊的花束(写真)をささげる場がなく、仕方なく献金箱へ――というのが真相。



★キリシタンの祈り

文・木崎さと子
画・小山 硬
日本画家・小山硬のキリシタンシリーズから選りすぐった19点。その一

★日常で神とひびく2
柳田敏洋著
私たちが取り巻く世界の不条理の中で「なぜ、どうして」の苦しみを安易に解消せず、そのただ中で神の愛を受けとめる道とは・・・司祭である著者が自らの体験などをとくに、神とひびき合う大切さを説く。
ドン・ボスコ社、1470円。

車イスでお墓参り 祈りの丘
長崎駅より車15分、小江原車庫前バス停より徒歩3分
夢が丘ニュータウン県道向が4、車50台以上
長崎大理石 (TEL) 095-839-0374
経営管理者 (TEL) 095-839-1008
祭壇前、規格墓碑一切(即納骨可) 210万円

(医) 外尾内科医院
院長 ペトロ 外尾 明利
〒857-1152 佐世保市黒髪町34-4
TEL 0956-33-5557

主の平安
カトリック式葬祭・簡付一式
(有) 栄光式典社
代表取締役 ヨハネ 西村 勇二
長崎市社町7-18 TEL (095) 844-4011
24時間営業 FAX (095) 843-9896

天使の手のひら
Angel Palm
エンジェル パーム
心と体のために...
アロマ・ハーブ・ボディ・ケア・用品・雑貨・香水・化粧品・アロマ・ディフューザー・アロマ・ランプ・アロマ・ソート
住所: 西彼杵郡長与町真田1250-14
TEL: 090-5297-9304 毎週木曜日 10:00-18:00

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売
たつみ産業株式会社
西田商事株式会社
代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268

石 碑
墓地工事
写真彫刻
墓地分譲
長崎石彫
ヨゼフ 岩永 博明
TEL (095) 862-2469
長崎市長川町6-17 岩永ビル